



小型電気温水器 (センサー水栓つき)

取扱説明書

使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
この取扱説明書は、別紙「安全上のご注意」とあわせてご使用ください。

このたびは、小型電気温水器(センサー水栓つき)をお買い求めいただき、
まことにありがとうございました。

ご使用の前に

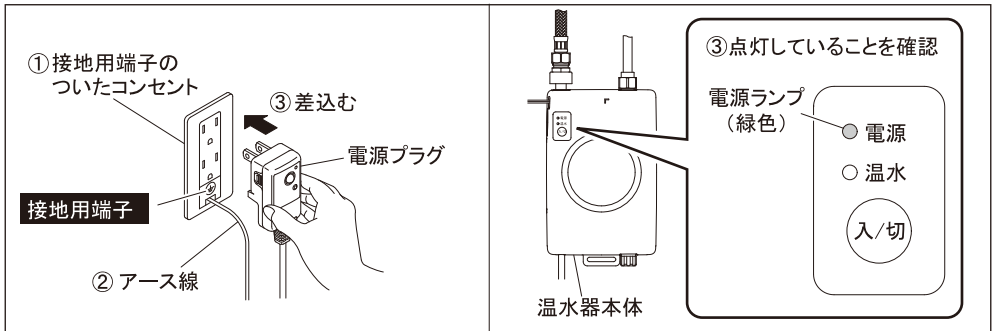
吐水される温水の温度および吐水量について

本品は **供給される水温に対して約13～16℃加温する温水器** ですので、供給される水温によって吐水する温水の温度が変わります。
冬期など供給される水温が低い場合には、好みの温度まで加温できない場合があります。
また、本品は加温性能(約13～16℃加温)を維持するため、吐水量を温水器本体内で約1L/分に制限しています。
なお、吐出される温水または水は、飲用できます。

止水栓およびセンサーケーブルの確認

- 止水栓が開いているかご確認ください。
- 施工説明書の「**取付方法** 5.センサーケーブルの接続」を参照して、センサーケーブルが確実に接続されているかご確認ください。

コンセントおよび電源プラグの確認



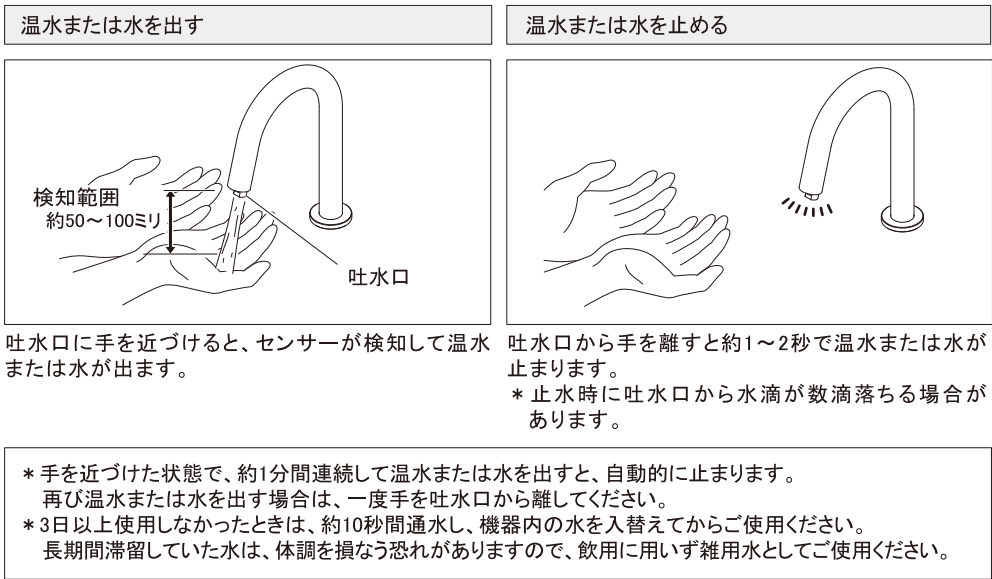
①接地用端子のついたコンセントが設置されていることを確認します。

- 接地用端子のないコンセントに接続しないでください。
- 接地用端子のないコンセントが設置されている場合は、必ずお買い上げの工事店または販売店に依頼してコンセントを付替えてください。
故障や漏電の際に感電する恐れがあります。

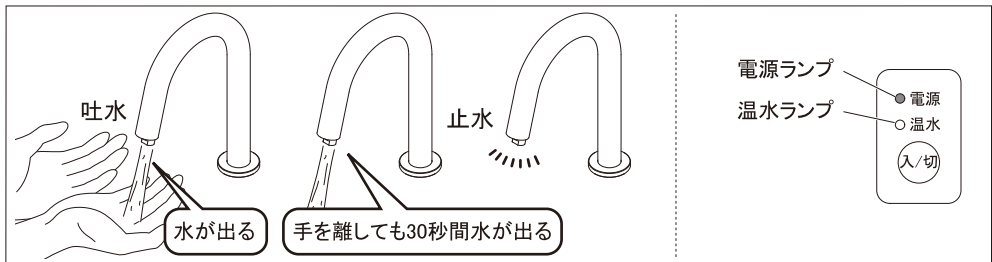
②アース線を接地用端子に接続します。

③電源プラグをコンセントに接続します。電源プラグを接続後、電源ランプ(緑色)が点灯していることをご確認ください。

使用方法



初めて水を出す場合、または 1 ヶ月以上使用しなかった場合

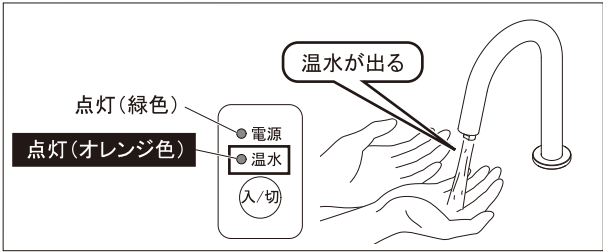


給水配管内に混入している空気を排出するため、30秒間連続して水が出ます。吐水口から手を離しても30秒間は水が止まりません。水が止まったら、電源ランプと温水ランプの状態をご確認ください。

使用方法(つづき)

初めて水を出す場合、または 1 ヶ月以上使用しなかった場合(つづき)

- 電源ランプと温水ランプが点灯している 給水配管内の空気が排出された場合



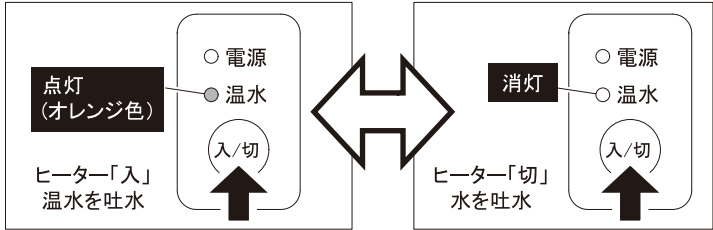
再び吐水口に手を近づけて温水が出るかご確認ください。
* 吐水口から手を離すと1～2秒で温水が止まります。(止水時に吐水口から水滴が数滴落ちる場合があります。)
* 手を近づけた状態で、約1分間連続して温水を出すと、自動的に温水が止まります。再び温水を出す場合は、一度手を吐水口から離してください。

- 電源ランプが点滅、温水ランプが消灯している 給水配管内に空気が残っている場合



再び吐水口に手を近づけると30秒間連続して水が出ます。水が止まったら、再度電源ランプと温水ランプの状態をご確認ください。電源ランプと温水ランプが点灯するまでこの手順を繰返し、給水配管内に混入した空気を排出してください。

温水入/切スイッチを使う



温水入/切スイッチを押すごとにヒーター「ON」(温水ランプ点灯、温水吐水)、ヒーター「OFF」(温水ランプ消灯、水吐水)が切替わります。

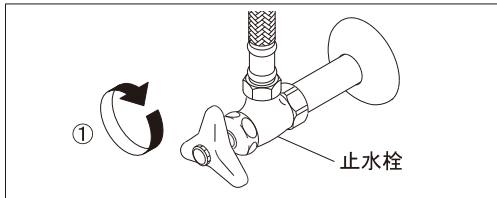
凍結を防ぐ

冬期など冷え込みが厳しい場合は、温水器本体・水栓(吐水部)の周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。水温が一定温度以下になると凍結による破損を防止するため、10分に1回、約5秒間自動的に吐水します。
* 凍結により破損した場合は、保証期間内でも無償修理の対象外となります。

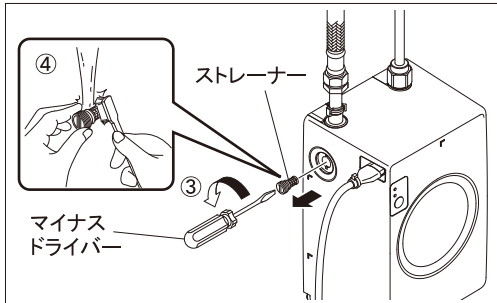
お手入れのしかた

ストレーナー・アミのお掃除

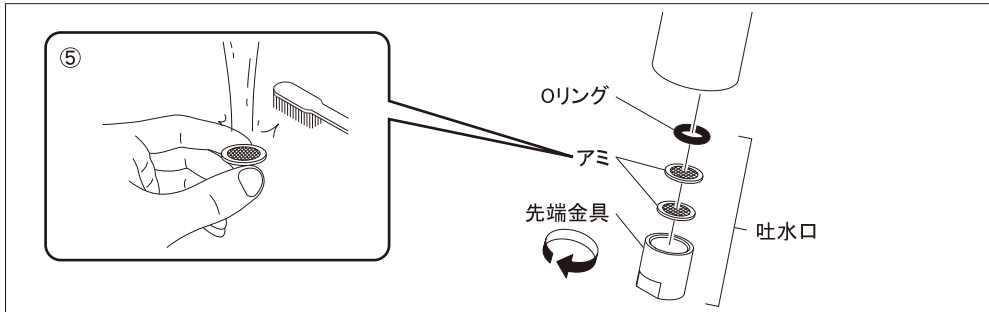
定期的ToStrainer・アミに付着したゴミなどの異物をブラシなどで洗い流して取除いてください。
本品は安全上、一定量の水が流れないと作動しないため、水が出なくなる場合があります。



① 止水栓を閉めて水を止めます。



②電源プラグをコンセントから抜きます。
③温水器本体左側のストレーナーを「マイナスドライバー」でゆるめて取外します。
④ストレーナーの網目に詰まったゴミを取除きます。



⑤上図のように、水栓(吐水部)の吐水口内部にあるアミを取外して、ゴミなどの異物をブラシなどで水洗いして取除いてください。
⑥①～⑤の逆の手順で元に戻します。

* 電源プラグをコンセントに接続した後に再度水を出すと、給水配管内に混入している空気を排出するため30秒間連続して水が出ます。詳細は「**使用方法** 初めて水を出す場合、または1ヵ月以上使用しなかった場合」をご確認ください。

器具のお手入れ いつまでも美しくご使用いただくために。



- 水栓器具の金属部
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみにませた布でみがいてください。
- 水栓器具のプラスチック部・塗装面
乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。

注意 金属たわしやクレンザー・みがき粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、金属表面を傷つけたりプラスチック部・塗装面を傷めますので使用しないでください。

お手入れのしかた(つづき)

電源プラグの点検（安全のため、月に1～2回程度は必ず点検を行ってください。）

① 電源プラグの「テストボタン」を押して、「漏電表示ランプ」が点灯することを確認します。

②「リセットボタン」を押して、「漏電表示ランプ」が消灯することを確認します。

* リセットボタンを押した後に再度水を出すと、給水配管内に混入している空気を排出するため30秒間連続して水が出ます。詳細は「[使用方法](#) 初めて水を出す場合、または1ヵ月以上使用しなかった場合」をご確認ください。

電源プラグのお掃除

安全のため、月に1回程度は、電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布で拭いてホコリなどを取除き、根元まで確実に差込んでください。

電源プラグにホコリなどがたまると火災の原因となります。

* 電源プラグをコンセントに接続した後に再度水を出すと、給水配管内に混入している空気を排出するため30秒間連続して水が出ます。詳細は「[使用方法](#) 初めて水を出す場合、または1ヵ月以上使用しなかった場合」をご確認ください。

長期間使用しないとき

* 長期間使用しない場合は以下の手順で水抜きを行ってください。

本品は寒冷地対応品ではありません。

設置場所の周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

① 止水栓を閉めて水を止めます。

② 電源プラグをコンセントから抜きます。

③ 温水器下側の排水栓の下にパケツなどを置いてから排水栓をゆるめて取外し、水を抜きます。

④ 排水栓を締付けて元に戻します。

⑤ しばらく使用しない場合は、止水栓を閉めて、電源プラグを抜いておいてください。

* 再度使用する場合、電源プラグをコンセントに接続した後に水を出すと、給水配管内に混入している空気を排出するため30秒間連続して水が出ます。詳細は「[使用方法](#) 初めて水を出す場合、または1ヵ月以上使用しなかった場合」をご確認ください。

長期間使用しない場合は、止水栓を閉めて電源プラグをコンセントから抜いてください。また、温水器本体の排水栓を開いて温水器本体内の水を抜いてください。

誤作動などによる予想しない事故や、漏水により家財などを濡らす財産損害発生 の恐れがあります。

簡単な点検と対処のしかた

●こんなときには…機能が正常に働かないときは、次の要領で点検を行ってください。

現 象		原 因	対処のしかた
吐水不良	吐水量が少ない	●止水栓が閉まっている。	止水栓を開いてください。
		●ストレーナーまたはアミの目詰まり。	「 お手入れのしかた ストレーナー・アミのお掃除」をご参照ください。
	全く吐水しない	●電源プラグが差込まれていない。	電源プラグを確実にコンセントに差込んで、電源ランプが点灯することをご確認ください。
		●元電源（ブレーカー）が入っていない。 または停電している。	元電源（ブレーカー）を入れてください。 また、停電していないことをご確認ください。
		●漏電している （漏電表示ランプが点灯している）。	「●漏電表示ランプが点灯したときは」をご参照ください。
		●水がきていない。	止水栓または元栓を開いてください。 （「●電源・温水ランプが点滅したときは」を参照）
		●ストレーナーまたはアミの目詰まり。	「 お手入れのしかた ストレーナー・アミのお掃除」をご参照ください。 （「●電源・温水ランプが点滅したときは」を参照）
		●センサーケーブルが正しく接続されていない。	施工説明書を参照してセンサーケーブルを正しく接続してください。
		●センサーの表面が汚れている。	センサー表面の汚れを取除いてください。 （「●電源・温水ランプが点滅したときは」を参照）
		●センサーの前に障害物がある。	障害物を取除いてください。 （「●電源・温水ランプが点滅したときは」を参照）
		●供給水温が35℃以上になっている。	供給水温を35℃以下にしてください。 （「●電源・温水ランプが点滅したときは」を参照）
止水不良	水が止まらない	●センサーの表面が汚れている。	センサー表面の汚れを取除いてください。 （「●電源・温水ランプが点滅したときは」を参照）
		●センサーの前に障害物がある。	障害物を取除いてください。 （「●電源・温水ランプが点滅したときは」を参照）
		●インバーターや赤外線を用いた機器が近くにある。	該当する機器を遠ざけてください。
		●他の機器の赤外線ビームがセンサーや陶器（洗面・手洗器）内に入っている。	該当する機器を遠ざけてください。
		●施工後初めて水を出した、あるいは1ヵ月以上あけて水を出した。	「 使用方法 初めて水を出す場合、または1ヵ月以上使用しなかった場合」をご参照ください。
温水にならない		●ヒーターが「OFF」（温水ランプ消灯）になっている。	温水入/切スイッチを押して温水ランプが点灯することをご確認のうえ、ご使用ください。

簡単な点検と対処のしかた(つづき)

●電源・温水ランプが点滅したときは（エラー表示）

ランプ	点滅パターン	エラー内容と対処のしかた
電源ランプ (緑色)	約3秒毎に 2回点滅 	センサーの検知異常を示すエラー表示です。 センサーの表面の水滴や汚れ、センサーの前の障害物を取除いてください。
	約3秒毎に 3回点滅 	●初めて水を出す場合、または1ヵ月以上使用していない場合 給水配管内に空気が混入していることを示すエラー表示です。電源ランプ、温水ランプが点灯し、温水が出るまで30秒間の吐水状態を繰返してください。
温水ランプ (オレンジ色)	約3秒毎に 2回点滅 	●上記以外の場合 本品は安全のため、一定量の水が流れないと作動しないようになっています。ストレーナーやアミの目詰まりがないか、止水栓や元栓が開いているかご確認ください。
	約3秒毎に 3回点滅 	温水センサーの異常を示すエラー表示です。 電源プラグをコンセントから抜いて、再び差込んで、正常に動作するかご確認ください。正常に動作しない場合は、お買い上げの工事店または販売店にお問い合わせください。
		温水の温度が高温（約42℃以上）になっていることを示すエラー表示です。 給水温度を35℃以下にし、しばらく（約10分程度）してから正常に動作するかご確認ください。

●漏電表示ランプが点灯したときは

本体内部で漏電が発生すると、事故防止のために各機能が停止し、電源プラグの「漏電表示ランプ」が点灯します。また、電源プラグに水がかかると「漏電表示ランプ」が点灯する場合があります。

漏電表示ランプの解除方法

① 電源プラグをコンセントから抜いて、10秒ほど間をおいてから再び差込みます。

②「リセットボタン」を押してランプを消灯させます。

* 上記の操作をしても再びランプが点灯するようであれば、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの工事店または販売店にお問い合わせください。

* 電源プラグをコンセントに接続した後に再度水を出すと、給水配管内に混入している空気を排出するため30秒間連続して水が出ます。詳細は「[使用方法](#) 初めて水を出す場合、または1ヵ月以上使用しなかった場合」をご確認ください。

●次のような場合は故障ではありません

現 象	理 由
温水がぬるい	供給される水温に対して約13～16℃加温する温水器ですので、供給される水温によって吐水する温水の温度が変わります。冬期など供給される水温が低い場合には、お好みの温度まで加温できない場合があります。
温水器本体からブーンという音がする	温水器本体内の機器が動いている音です。温水または水の吐水や止水が正常であれば問題ありません。
センサーから手を離しても2秒程度水が止まらない	手洗い時の水の出し止めの繰返しを防止するため、手を離してから約1～2秒後に止水するようになっているためです。
センサーから手を離しても約1分間止水しない	センサーの表面の水滴や汚れ、センサーの前の障害物をセンサーが誤検知し、連続して約1分間水を出したと判断して自動的に止水するためです。センサーの表面は常にきれいにしておき、センサーの前に障害物がないようにしてください。
温水または水が出たり出なかったりする	センサーの表面の水滴や汚れ、センサーの前の障害物をセンサーが誤検知しているためです。センサーの表面は常にきれいにしておき、センサーの前に障害物がないようにしてください。

●修理を依頼されるときは

上記の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの工事店または販売店にお問い合わせください。品番は、水栓（吐水部）裏に貼付してあるラベルでご確認ください。

239-004-1
OO ← 品番

分解禁止

修理技術者以外は、説明書に記載された箇所以外は絶対に分解したり、修理・改造を行わないでください。故障や感電・火災の原因となります。